

日本百貨店協会は、昭和23年(1948年)3月設立。百貨店の健全な発達を図り、国民生活の向上と国民経済の発展のため活動しております。(会員数91社266店舗)

循環型社会の構築を目指して

百貨店は、消費者と直接、接する立場にあり、その企業活動を通じて、循環型社会における環境保全と持続可能な社会・経済発展に寄与することを目指しています。

各百貨店では、全事業活動において、環境負荷・社会的コストの低減を図り、環境と経済の両立に資することを重要な経営課題としています。容器包装材使用量の削減、環境に配慮した商品の充実などを推進するとともに、自らが排出する廃棄物の減量化、適正処理、再資源化に努めています。

また当協会では、百貨店の環境負荷・社会的コストの低減を図るための様々な支援活動を行い、取組みを強化しています。

Reduce (リデュース=廃棄物の発生抑制) ——— スマートラッピングの取組み

環境負荷の低減のため、消費者自らが使い道にあった包装を選択する「スマートラッピング」を呼び掛けています。容器包装の適正化、容器包装材使用量の削減や再生包装材の利用に取組み、その方法の一つとして、ふるしきの普及やマイバック運動等を推進しています。

「スマートラッピング」 2006年6月5日創設、毎月5日は「スマートラッピングの日」

「贈答品はきちんと包む」・「ご自宅用品はシールのみ」・「まとめて入れる」といった、メリハリのある包装を、お客様が選択する「自らが考え・選択する」(スマートコンシューマー)ための呼びかけ。



百貨店業界統一バッグ

容器包装の削減に向け「スマートラッピング」を通して、百貨店が一丸となり、統一ポスターをツールとしてお声かけ、レシートへの印字や店内放送等を中心に取り組んでいます。

レジ袋に関しては、有料化だけではなく、百貨店らしい対応が必要であることから、2007年初めて、百貨店業界統一「My スマートレジ袋」を2万枚限定販売しました。



2008年7月、第2弾を温室効果ガス排出権によるカーボンオフセット付き商品「デパート・レジバッグ」を販売しました。売上げの一部が、国連CDMが認証したCO₂削減プロジェクトの費用にあてられ、このバッグ1枚で約12kgのCO₂削減効果があります。

販売を通じて、マイバッグ利用促進を呼びかけています。

統一バッグは、循環型リサイクルシステム「エコサークルR」の繊維を使用し、何度でもリサイクルされます。

レジ袋ご不要カード

2008年7月より、マイバッグ利用促進と連動させ「お声かけ」等の徹底を図ることを目的として、「レジ袋ご不要カード」を店内の集中レジに設置し、レジ袋を必要としないお客様が意思表示を容易にできるよう、業界統一カードを導入、実施しています。



Reuse (リユース=再使用) 百貨店統一ハンガー・折りたたみコンテナ

廃棄ハンガーを減少させ、再利用を促進し、さらに物流の効率化を推進する「百貨店統一ハンガー」を1997年より取り組んでいます。また、ハンガー納品や繰り返し使える折りたたみ式のコンテナを利用して段ボール箱の使い捨てを削減しています。



Recycle (リサイクル=再資源化) ユニフォームリサイクル・紳士服リサイクル

百貨店業界統一バッグは、循環型リサイクルシステム「エコサークルR」により再生された繊維を使用しています。不要になればリサイクル可能で、新しい繊維に何度でも生まれ変わります。

会員百貨店では、従業員のユニホームのリサイクル、また、繊維リサイクルへご賛同いただいたお客様とともに、ウールコートや紳士服を店頭回収し、断熱材・防音材などに再利用しています。